

印刷業界を支える ゴミ取りロール を開発



連結捨水ローラー

タイキャス



テクノロール株式会社

現場の利便を上げる ゴミ取りロール

テクノロールは、印刷用の特殊な材質のゴムロールや特殊な構造をもつゴムロールの製造メーカーである。昭和55年、米国内企業と技術提携を結び、高級印刷樹脂ロールの製造・販売を開始。その後、順調に業績を伸ばすも、西脇宏社長はさらなる上を目指し、6年の研究期間を経て、自己粘着性ゴムを使ったゴミ取りロール「クリーンダッシュ」を開発した。金属印刷で使用するブリキ板を切断する際に付着した金属粉や、印刷工程の中で付着したゴミ、さらには、オープン内で付着したヒューム（金属蒸気が凝集した粒子）を、半永久的粘着力で除去できるゴムローラーだ。印刷現場における課題の一つである版のゴミ（ヒッキー）は、それまで人の手によって除去をしていたが、それを不要とする「ヒッキースーパー」

は急速に普及した。

数年後にはUV印刷用ローラー「トラストUV」の製造・販売を始める。これはフィルム等の特殊素材の印刷を容易にするものであり、シェアを大きく広げた。

その他、ローラーのメンテナンスを不要にした「ヒッキー・ゴースト除去ローラー」等、現場の利便を第一に考えた数々の製品を開発し、印刷機メーカーや印刷オペレーターから常に高い評価を得ている。

こうしたローラーは、「当社独自のこだわりで開発しています。製品に尽きます」と西脇社長は話す。

海外ネットワークを基盤に 先端技術を導入

会社勤めの経験もあつた西脇社長は、海外企業との連携の重要性を痛感していた。テクノロール設立後は、技術の盗用を案じるよりも、お互いの得意分野での独創性を保ちつつ、ライセンスを持つ海外企業とのネットワークを築きたいと考えていた。

「当社の保持するライセンスを海外の企業に提供し、ライセンス料をいただいで製品を作ってもらおうのです。もちろん、その逆もあります。技術のやりとりをしながらお互いに発展していく、というのがポリシーです」。韓国をはじめニュージランド、米国、台湾、中国等、世界各国に自社開発品の技術を輸出する一方で、海外の先端技術も積極的に取り入れ、独占製造権を取得している。世界にたくさん仲間がいる、幅の広い会社

でありたい、との姿勢である。

「新しい技術の導入によってコストダウン、品質向上が進み、お客様が喜ぶ。それが何よりも嬉しいですね」。さらに今後は印刷業界のみならず、金属、プラスチック、電子といった多岐にわたる新たな分野への参入も視野に入れている。

これまででは、顧客のニーズにきめ細かく応えるものづくりを心がけてきた。それは変わることはないが、「コストダウンと環境負荷低減を考えたものづくり」も間違いなく重要になると考えている。

主な事業内容

印刷用ゴムロール・関連資材の製造・販売、印刷機械周辺機器の開発・設計・製造・販売、各種産業用自動ゴミ除去システムの開発・設計・製造・販売等



西脇 宏さん
代表取締役

テクノロール株式会社

Company Profile

住所 / 〒594-1144
大阪府和泉市テクノステージ3-4-5
創業 / 昭和54年 9月
設立 / 昭和55年 10月
資本金 / 2,500万円
従業員 / 120名 (平成21年1月現在)
TEL / 0725-53-3933
FAX / 0725-53-3922

ISO 9001
ISO 14001

関西
20

大阪
16

<http://www.technoroll.co.jp/>